

2011年3月14日

イビデン株式会社

大垣中央事業場 第2工場棟の地鎮祭を挙

イビデン株式会社(代表取締役社長:竹中 裕紀、本社:岐阜県大垣市)は、パソコン市場の拡大と技術革新に対応するため、大垣中央事業場内に第2工場棟の建設を決定し、3月14日(月)に地鎮祭を挙行いたしました。地鎮祭には来賓、関係者をあわせ約60名が出席しました。

席上、竹中社長は「大垣中央事業場第1工場棟は、2007年よりパソコン向けICパッケージ基板の主力工場として稼動していますが、この第2工場棟は次世代、次々世代製品の生産拠点になります。国内の工場で海外の大手企業と競争するのは大変ですが、高い技術を活かし、競争力のある工場にいたします。安全に万全を尽くし、この工場を完成させたいと思います。」と述べました。

大垣中央事業場第2工場棟は最先端の技術と最新鋭の設備を導入したパソコン向けICパッケージ基板の工場であり、次世代製品の量産拠点として、2012年夏の稼動開始を目指します。

〈新工場棟の概要〉

名称	: 大垣中央事業場 第2工場棟
所在地	: 大垣市笠縫町100-1(大垣中央事業場敷地内)
建屋面積	: 約48,000㎡(延床面積)
生産品目	: パソコン向けICパッケージ基板
生産開始	: 2012年夏(予定)
総投資額	: 350億円(予定)



▲工事の無事を祈願する竹中社長



▲大垣中央事業場第2工場棟完成予想図

以上